

7月31日～10月31日

町内4郵便局を巡る小型印スタンプラリーを開催



各局の押印台紙に押印された
小型のスタンプ

町内の郵便局主催による、町内4郵便局を巡る小型印スタンプラリーが、7月31日から10月31日まで開催されています。弟子屈町120年を記念して開催されたもので、今回町内4郵便局で作成する小型印のうち、3郵便局は弟子屈フォトコンテスト入賞作品の中から各郵便局のエリアの写真を使用しデザインしたとのこと。台紙には、町の歴史や鹿児島県日置市との姉妹都市盟約締結のきっかけとなった、永山在兼氏のエピソードなどが記載されており、町内の観光地を周遊できるだけでなく歴史も知ってもらえるようなスタンプラリーとなっています。

7月31日

町産のブドウを使用 スパークリングワインが発売



販売発表の様子

まちづくりや特産品開発などを手がけるテシカガタウラボ(上村剛志社長)が販売する、町内で栽培されたブドウを使った赤スパークリングワイン「テシカ」の発表が7月31日に、役場で行われました。今回は、地域おこし協力隊ワイン事業推進支援員の木龍奈津子さんが中心となり、開発を進めてきました。木龍さんは「弟子屈のブドウの良さを最大限引き出せるように醸造を工夫した。しっかり冷やして楽しんでください」と話していました。

7月18日

特殊詐欺を防ぐ 郵便局で対策訓練を実施



訓練の様子

局員向けの特殊詐欺被害防止対策訓練が7月18日、美留和郵便局(前田航太局長)で行われました。本町のほか、標茶町、釧路町の計13郵便局でつくる釧路北部会が弟子屈警察署の協力のもと初めて実施されたもので、他局員のためにオンラインでも配信されました。来局者に扮した同署員が、携帯電話を掛けながらATMで現金を振り込もうとしているところに声をかける設定で3人の局員が訓練を行いました。実際訓練をした局員は「地方の郵便局だからこそ、普段かかってこないような電話があれば相談してほしい」と話していました。

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかけつけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課内通)

8月9日

硫黄山までのつづけ原自然探勝路 鈴木知事が視察



森原さん(左)のガイド
を受けける鈴木知事(右)

道内で開かれる体験型観光の国際イベント「アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)2023」の体験コースを8月9日、鈴木直道知事が視察しました。川湯温泉街と硫黄山を結ぶつづけ原自然探勝路で見られる、イソツツジなどの高山植物について、自然ガイドの萩原寛暢さんから植生の特徴などの説明を受けました。鈴木知事は「厳しい自然環境に生息する植物を見て、おいしい食を体験していただきたい」と話していました。

アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)
…世界最大のアドベンチャートラベルイベント、約60か国から旅行会社やメディア、ツアーオペレーターなど約800人の関係者が参加し、期間中にATツアー体験や講演会、セミナーや商談会などが行われる。

8月1日

地元の景色を堪能 てしかがふるさとSKYクルーズを実施



ヘリコプターに乗り込めば中学生

ふるさと教育の一環として8月1日、町内の中学生7人がヘリコプターで摩周岳や屈斜路湖の上空を遊覧飛行で楽しむ「てしかがふるさとSKYクルーズ」を実施しました。ヘリコプターは、渡辺体験牧場の特設ヘリポートからスタート。上空300メートルから摩周湖や屈斜路湖など美しい自然を子どもたちに実感してもらおうという狙いで初めて実施しました。参加した中学生からは「普段、上空から自分たちの住んでいる町を見ることができないので貴重な経験だった」と話していました。

7月26日

順調な収穫と出荷を願って 摩周メロン豊穡祭を開催



出荷を祝いメロンカット

摩周メロン生産組合(窪内英和組合長)の豊穡祭が7月26日、町農産物出荷センターで行なわれ、徳永町長、摩周湖農協の望月信雄代表理事専務、弟子屈郵便局の藤原将男局長がメロンカットを行いました。今年は、生産者7戸が赤肉と青肉合わせて約2万個を出荷する予定となっており、窪内英和組合長は「5月は気温が低いことが多く心配したが、大きさも糖度も十分で生産量が少ない幻のメロンを味わってほしい」と話していました。

7月24日～8月10日

美しい星空 星空さんぼ 窓の外には奇跡の夜空展を開催



写真展
窓から見た星空をイメージした

町内のペンション(ぼりりす馬場一郎さん、綾奈さん)のてしかが星空写真展が7月24日～8月10日まで、弟子屈郵便局(藤原将男局長)ロビーで開催されました。馬場一郎さんは、町の美しい星空を守りたいとの思いで、てしかが星空愛好会を立ち上げ、写真撮影や観光ツアーを行っています。写真展したボードは窓から見た星空をイメージしたデザインになっており、夏の大三角や天の川など幻想的な作品が多く展示されていました。

8月14日～30日

トレイルの魅力伝える 摩周・屈斜路トレイル展を開催



摩周・屈斜路トレイル展の様子

NPO法人てしかがトレイルクラブ(土屋重敏代表理事)が8月14日から30日まで、弟子屈郵便局(藤原将男局長)ロビーで摩周・屈斜路トレイル展を開催しました。摩周・屈斜路トレイルは摩周湖第一展望台から美留和、屈斜路湖畔を通るなど全長62キロのコースのうち50キロが開通しています。展示会では、同法人の活動を写真とともに紹介しており、歩きながらさまざまな自然や文化に触れることができる摩周・屈斜路トレイルの魅力を感じられる展示となっていました。

8月10日

夏休みを楽しもう JRで行く遊学館を実施



参加した児童たち

弟子屈町未来子ども協議会(目黒厚子会長)は「JRで行く遊学館」を実施しました。この事業は、社会性や自主性、協調性を養うとともに、郷土に対する関心と理解を深めることを目的とし、町内の小学生17人が参加しました。JR摩周駅から自分たちで釧路行きの切符を買い、釧路に到着。子ども遊学館ではプラネタリウムを見学、昼食を食べたのち地元に戻ってくるというスケジュールでした。主催者の目黒厚子会長は「自分たちで切符を買うなど体験することが社会勉強になり、子どもたちにとって良い1日になったと思う」と話していました。

7月31日

防火活動に貢献 屈斜路郵便局に感謝状を贈呈



感謝状の贈呈を受けた
屈斜路郵便局三塚勝也局長(右)

屈斜路郵便局(三塚勝也局長)が、5月25日に屈斜路地区で発生した草地火災の初期防火活動に貢献したとして7月31日、弟子屈消防署(池田保士署長)から感謝状と防災グッズが贈呈されました。火災当日、付近を車で走行していた第一発見者が屈斜路郵便局に「道路の横が燃えている」と駆け込みがあり、119番通報。通報後は、局員が協力し消火器やバケツなどに水をくみ迅速で的確な初期消火活動を実施したとのことでした。池田署長からは「隣接する国有林に被害が出る前に消し止めていただき感謝している」と話していました。

7月27日

災害時の物資供給 町と摩周調剤薬局の協定締結式を実施



竹森英彦(代表取締役)と協定を締結した
竹森英彦(代表取締役)

町と摩周調剤薬局(竹森英彦代表取締役)は7月27日、災害時ににおける物資の供給に関する協定を締結しました。この協定は、大規模災害などが発生した場合に町の要請で医薬品や医療用物資などを供給するもので、町と薬局が物資供給に関する協定を結ぶのは、今回が初めてとなりました。徳永町長は「町内でも台風による被害が発生した。いつ災害が発生するかわからない中、このような協定を結んでいただき感謝している」と話していました。